

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	5			・法令で定められた基準以上のスペースがある。
	②	職員の配置数は適切であるか。	5			・児童10名に対し指導員2人という国の基準に加え加算要件を満たす人員配置を行っている。 理学療法士、保育士、教員、など専門性を備えたスタッフ配置に努めている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	5			・室内はバリアフリー設計となっている。
業務 改善	④	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			・毎日行うミーティングで子どもの姿に対する支援内容やその結果などについて話あっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	5			・保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向を把握し改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5			・利用者の保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向を把握し改善に努めている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			・相談支援員や他事業所の訪問を受け入れ、率直に意見をうかがい、改善に努めている。
適切な 支援の 提供	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	5			・内部研修としてマニュアル等についての研修を行ったり、オンラインによる研修、外部施設への見学等を行い資質の向上を目指している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			・見学や体験時に行う保護者面談でニーズを把握したり、行動観察を記録し個別支援計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4	1		・自社作成のアセスメントツールを使用し、基本的事項、要望、得意なこと、苦手なこと等の把握に努めている。また、必要に応じて利用者が医療機関等で行った検査結果をお持ちいただき発達状況を把握している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・年間プログラム予定表を作成し、テーマに沿い職員全員がプログラムの立案に参加している。
	⑫	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか。	5			・月間テーマに沿い、毎日少しずつ変化をつけたプログラム構成をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	5			・平日、休日、長期休暇それぞれに、課題やタイムスケジュールを設定している。 ・休日には平日には体験できない内容の課題を設定し、色々な経験、体験ができるようなプログラムを提案している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画書を作成しているか。	5			・基本的には集団活動を行っているが、一人ひとりの発達や課題に応じて、個別の課題や、社会性の課題、集団適応に至るまでの課題等を計画書にしている。

適切な支援の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5			・活動前後でのミーティングやプログラム立案会議時に職員間にて支援内容や役割分担について把握できるように努めている。また、活動終了後、その日の気づきや振り返りを記録として残し、職員間での共有、次回のステップアップや改善につなげている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	4	1		・HUGシステムから、日々の記録を写真付きで保護者に公開している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	5			・概ね6か月に1度モニタリングを行い、支援計画の見直しをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。	5			・基本に沿い事業所の特色を生かし支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	5			・開催される際には管理者、児童発達管理支援責任者等の適任者が出席している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切におこなっているか。	5			・毎月、利用者の通う学校から下校予定表を受け取ることで、スムーズな送迎へとつなげている。 ・要望に応じて、事業所での様子を伝えたり、学校での様子をうかがったり、相談支援事業所や学校と連携して支援を行っている。
	㉒	医療的なケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか。	4	1		・医療的ケアが必要な子どもは現在受け入れていない。 ・医療的配慮が必要な子の保護者から見学の依頼があった際には診断書の必要性や主治医との連携体制がとれるかを確認するよう伝えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		・必要に応じて相談支援員と連携し情報共有や相互理解を図っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		・必要に応じて相談支援員と連携し情報共有を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5			・相談支援員の訪問を受け入れ、率直な意見を伺いながら業務の改善につなげている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	2	2	1	・祝日等の休日を利用して児童館に出かけたり、図書館の利用したりしている。障害のない子と活動をする機会には至っていないため、今後交流の機会を考えていきたい。

	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5			・放課後等デイサービス協議会の催す、研修会や他事業所訪問などに参加している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			・通所時等にご家庭、学校での様子を聞いたり、事業所での様子を伝えたりしている。 ・HUGシステムから日々の事業所での記録の確認いただいたり、コメントを受けとったり、LINEより個別の相談を受けている。
保護者への説明責任	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか。	5			・通所時やモニタリング時に、現状の困り感に対してご家庭で取り組める内容を伝えたりしている。
	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			・契約時に説明を行っている。 ・不明な点については随時職員が説明するようにしている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			・HUGシステムの連絡事項やLINE、電話を使い、保護者からの相談には迅速に対応すよう努めている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	5			・4月に保護者会を開催した。 ・今後、保護者会等、保護者同士が意見を交換できる機会を増やしていきたいと考えている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			保護者から相談や申し入れがあった場合、責任者へ報告し、内容に応じ適任者が対応している。 ・電話や面談、LINE等でも受付しており、迅速な対応に努めている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			・必要に応じて連絡事項等の情報をお便りや公式LINEで発信している。 ・活動の内容についてはHP、Instagram、HUGシステムにて公開している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか。	5			・個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットにて保管している。 ・個人情報使用同意書、肖像権使用同意書等を作成している。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			・その日の活動内容をホワイトボードに記載している。必要に応じて絵や写真などを使用し視覚補助ができるようにしている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4		・ボランティアなどの受け入れを行った。 ・地域住民の方にも参加していただけるような企画を今後考えていきたい。
非常	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	5			・各種マニュアルを保護者が観覧できるように玄関フロアに設置している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			・年2回の避難訓練を行っている。 ・定期的な防災グッズの点検を行っている。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・虐待防止マニュアルを作成しミーティング等で職員へ共有。 ・第一回虐待防止委員会を開催し、規定などについて理解を深めた。

時の 対応	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束は行っていない。</li> <li>・身体拘束適正化委員会の開催。</li> </ul>
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所からの食物の提供はないがアセスメントではアレルギーの有無を確認している。また、アレルギーに触れる可能性のある場合には医師の指示書をいただけるよう保護者に説明している。</li> </ul>
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な事例があった場合は、報告書に記載し、ミーティング等で職員へ共有している。</li> </ul>